



型番：TAFF-33-R / TAFF-33-SS-R / TAFF-44-R (共通)

取扱説明書

この度は、「防水タイプ ウィンカーランプリレー(タフ)」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、この取扱説明書は大切に保管して、必要になった時に繰り返しお読みください。

本機をご使用になる前に...

- 車庫の仕様(特殊な解錠モードを使用している場合や、車庫が特殊な配線をされているなど)により、本機をご使用いただけない場合があります。あらかじめ、車庫電気系に詳しい取扱販売店にご相談ください。
■本機の取り付けは、燃料タンク、燃料パイプなど、火災を誘うものから出来るだけ遠ざけて設置してください。万が一の場合、火災や電気事故などの事故になる恐れがあります。
■本機は、お車種自身の責任において、ご使用ください。本機の使用によって、法的、または、間接的に引き起こされた損失、あるいは、その他の物品の破損に対して、弊社は、いかなる責任も負いません。
■取り付けは、車庫電気の詳細な説明書、または、取り付け付からご提供いただく、取組書の知識不足による、誤った取り付け・配線方法による、車庫の故障、故障など、全ての問題に対して、弊社は、いかなる責任も負いません。また、それらにおいて生じた後続、故障などは、ご購入から期間、使用期間の長短に関わらず、有償修理となりますので、十分にご注意ください。

本体各部の名称と使い方



Table with 2 columns: 点滅パターン 1 2種類 (左・右・ハザード各 1 2種類 全36パターン) and 3 columns of button functions (1ch, 2ch, 3ch, 4ch, 5ch, 6ch, 7ch, 8ch, 9ch, 10ch, 11ch, 12ch).

この取扱説明書には、取り付けや取り換え、万が一の事故などを未然に防ぐための重要な注意事項などを、明記しています。本書をよくお読みの上、お車庫の責任において、安全に正しくお使いください。

特に、個人でお取り付けになる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

© SAME'S Co.,Ltd. All Rights Reserved. Printed in JAPAN

タフ/ウィンカー用ジョイントケーブルセット
タフ/ウィンカー用3連タイプ専用(対象車種：TAFF-33、TAFF-33-SS、TAFF-33-R)。タフ本体・ウィンカーランプ、ウィンカー信号入力への配線延長ケーブルです。ケーブル長は2m、両端に防水ボルト型自在取付部。

取り付けについて

取り付けは、電気の知識に基づいた正確な配線、作業をお願いいたします。誤った配線や、取り付けにおいて生じた故障は、使用期間の長短を問わず、有償修理となりますので、十分にご注意ください。特に、個人でお取り付けになる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

お手入れについて

長くお使いいただくために、定期的メンテナンスしてください。キズや汚れの発生がひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたし、よく拭いてください。汚れを落とす際は、必ず電源を切ってください。車庫、タフ本体、ケーブルなど、電線の長いケーブルは、必ず接地して使用してください。電線が傷ついたり、シールドが剥がれたりする場合があります。ペンシールドシールドは、変質したり、剥離、割れたりする場合がありますので、定期的に確認してください。また、お手入れの際は、安全のため、バッテリーを必ず外してください。

点検について

使用の際は、定期的に、本体、ケーブル、配線などに、傷みや汚れ、接触箇所異常が検出されないよう定期的に点検してください。

故障したら面白い

点検が済んでも、キズやキズ、配線などとの接触に気付いたら、すぐに使用を中止し、お買い求めの販売店、または、弊社に修理をご依頼ください。

異常が発生したときは

万が一、重要な音に、音や音が聞けず、直ちに使用を中止し、適切な処置を講じた上で、お買い求めの販売店にご相談ください。異常状態のまま使用を続けると、万一、事故につながる恐れがあります。ペンシールドシールドは、変質したり、剥離、割れたりする場合がありますので、定期的に確認してください。また、お手入れの際は、安全のため、バッテリーを必ず外してください。

分解・改造禁止

本書を分解したり、改造したりしないでください。火災や故障、故障の原因となります。分解の必要がある場合は、弊社までご相談ください。

規定内の電気で使用して下さい

本機は、パワーリレー(リレー)方式(2線制)の動作です。規定内の電気で使用してください。また、DC24V電源、バッテリー充電機、家庭用コンセントなど、交流成分が混入した電圧での使用はできません。車庫の構造になりますので、十分に注意してください。

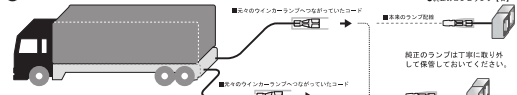
同梱品: タフ本体(1個)、ウィンカーランプ(3個)、ジョイントケーブル(3本)、説明書(1冊)、保証書(1冊)
●商品の写真は印刷の性質上、実物とは多少異なることがありますのであらかじめご了承ください。
●性能向上のため、外観、仕様の一部を手軽に変更することがあります。
●取り付けは、電気知識が必要です。個人でお取り付けの際は、取扱説明書を十分にお読みの上、確実に配線してください。

本社の社名、取扱説明書は、2009年7月現在のものです。性能向上・改善のため、予告なく変更することもあります。ご了承ください。

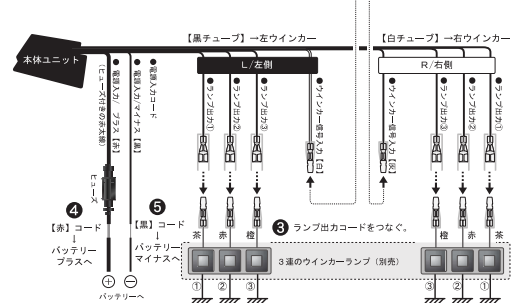
本体とウィンカーランプとの配線(本項は、3連対応タイプTAFF-33-R、および、TAFF-33-SS-Rの場合の解説です。4連用のTAFF-44-Rは裏ページ参照。)

- ▲警告 取り付け前に、配線、ショート、短絡などがないか点検してください。
■本機の取り付けを始める前に、車庫側には断電や、ショートなどの異常がないか、リレーなどで点検して下さい。異常が検出された場合には、取扱説明書を完全に確認してから、取り付け作業を進めてください。
■取り付けの際は、電気の知識に基づいた、正確な配線をお願いいたします。誤った取り付け、取り扱いにおいて生じた故障につきましては、使用期間の長短、有償修理保証期間を問わず、有償修理となりますので、十分にご注意ください。
■異常を放置したまま配線しますと、リレー本体が確実に壊れます。有償修理になりますので、十分にご注意ください。また、作業時には、安全のため、バッテリーターミナルを外しておいてください。

1 本体の設置場所を決めます。



2 リレー本体へウィンカーの信号を入力するためのコードを配線します。



■本体の設置場所などの都合で、ランプ配線を延長したい場合は、別売の延長ケーブルをご使用下さい。(裏ページ参照)

■配線のバリエーション(3連用/DC24V電圧を使用する場合のみ。)

タフ/ウィンカー(3連用)は、ランプ出力コード(赤・赤・橙)は、配線を分岐させることによって、1台でも、以下の例のように、複数のランプを同時点灯させることができます。ランプ個数の多い球形形状にも対応できます。DC24V電圧を使用する場合のみ、DC24V電圧の場合は、これらの方法で配線することができます。

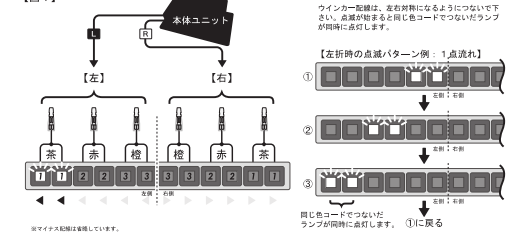
ただし、出力コード1本あたりにつき、電球の総ワット数が500W以上にならないように注意して下さい。規定内の容量であれば、例と異なるランプの配置でも取り付けることが可能です。



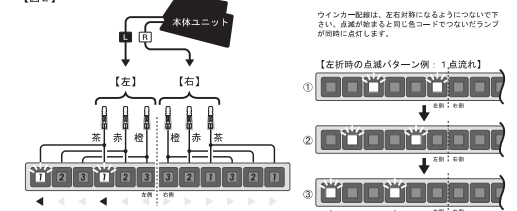
■片側6連横一文字テールの配線例(3連×2組で6連の点滅になります)



【図1】



【図2】



■本体の設置場所を決めます。

- 設置場所は、車庫後部の左右どちらからのウィンカーランプに近い位置でできるだけ水の掛りにくい所に、コードの引き出し口を下向きにしておく必要があります。
○ 良い取り付け例
✕ 故障しやすい例
コードが濡れて、水が内部に入ると故障の原因になります。
コードが濡れて、水が内部に入ると故障の原因になります。
コードが濡れて、水が内部に入ると故障の原因になります。

コードの引き出し口を下向きにしておく必要があります。コードが濡れて、水が内部に入ると故障の原因になります。

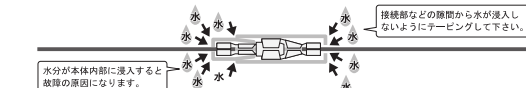
本体は防水処理をしていますが、より安全な状態で長くお使いいただくため、良い例のように取り付けすることを強く推奨します。

2 リレー本体へウィンカーの信号を入力するためのコードを配線します。

車庫からウィンカーランプへ配線されているコードを、ランプとの接続部分外し(ギボシなどの接続端子が無い場合は切断。)車庫側よりつながっているコードを本体の『ウィンカー信号入力』(左用・右用1本ずつあります)
【白】コード(白チューブの裏)に、元の右ウィンカーのコード
【黒】コード(黒チューブの裏)に、元の左ウィンカーのコード
を左右を絶対に間違えないよう注意して下さい。(取り外しに正しいウィンカーランプは、装着しておいて下さい。)

※注意

ギボシ端子などの接続部分から、【毛細管現象】により水が浸入することがあります。本体内部に水が入ると故障の原因になりますので、必ずテーピングなどの処理を施し、これらの箇所が、絶対に水に濡れないようにして下さい。



3 ウィンカーランプへ出力コードを配線します。

リレー本体から出ている【黒チューブ赤・赤・橙・白】のコードの裏は、『左ウィンカー』用です。その中から【赤・赤・橙】を、左ウィンカーランプの外側より、赤①番、赤②番、橙③番とつないで下さい。
続いて、【白チューブ赤・赤・橙・白】のコードの裏、こちらは『右ウィンカー』用です。こちらも【赤・赤・橙】を、右ウィンカーランプの外側より、赤①番、赤②番、橙③番とつないで下さい。

4 バッテリー【+】から、リレー本体への電源を配線します。

リレー本体の【赤太線/電源プラス】(ヒューズの付いているコード)を、バッテリー【+】に直接配線して下さい。※電線コードのバリエーション(本機では必ず250以上のワット数を使用して下さい。)(できれば、550W以上推奨です。)

5 最後に、バッテリー【-】と、リレー本体の黒コード(マイナス)をつなぎます。

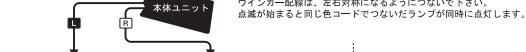
上までのすべての作業が済んだら、最後に、リレー本体の【黒コード/電源マイナス】をバッテリー【-】に直接つないで下さい。

以上で配線は完了です。

●片側6連ダンテール(3連2段での点滅になります)



【図3】



【図4】



【左折時の点滅パターン例：1点流れ】



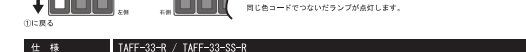
【右折時の点滅パターン例：1点流れ】



【左折時の点滅パターン例：2点流れ】



【右折時の点滅パターン例：2点流れ】

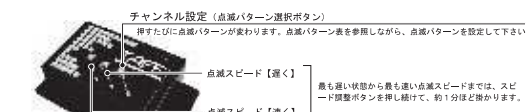


仕様

Table with 2 columns: 仕様 and TAFF-33-R / TAFF-33-SS-R. Includes details like 電圧入力 (DC24V), 最大出力 (300W), 電球仕様 (140.0x80.0x65.0mm), 点滅パターン (12種類), 点滅パターン切替 (デジタル式チャンネル切替スイッチ), 点滅パターン切替 (12種類の点滅パターンの中から選択可能), 点滅スピード調整 (デジタル式スピードボリュームスイッチ).

■本体ボタンの操作方法

点滅パターン、点滅スピードの操作方法は、TAFF-33-R/TAFF-33-SS-R/TAFF-44-Rとも同じです。



最も速い状態から最も遅い点滅スピードまでは、スピード調整ボタンを押し続けて、約1分ほど掛かります。

■点滅パターンの設定



ボタンを1回押すごとに、点滅パターンが1つ変わります。

点滅パターンは、1ch=2ch=3ch=12ch=1ch=2chと、順方向にしか進みません。

■点滅スピードの設定

Table with 2 columns: 点滅スピード and 点滅パターン. Lists 12 patterns and their corresponding speeds.

点滅スピードの調整は、最も遅い点滅~最も速い点滅に到達するまで、ボタンを押し続けた状態で、約1分程度掛かります。点滅スピードを調整するときにはそれを目安に調整して下さい。



【速く】ボタンを押すと、点滅が速くなります。【遅く】ボタンを押すと、点滅が遅くなります。

【速く】ボタンを押し続けると、超スロ点滅モードになります。(TAFF-33-SS-R、TAFF-44-Rのみ)

●超スロモードは、TAFF-33-SS-R、TAFF-44-Rのみです。TAFF-33-Rには超スロモードはありません。

■点滅スピードの調整

●超スロモード付きの【TAFF-33-SS-R、TAFF-44-R】は、【TAFF-33-R】よりも点滅スピードの調整幅がワイドになっています。

車庫時や通常の点滅が必要な場合には、【5ch 全灯全消(通常ノーマル点灯)】を選択して、ウィンカーの点滅スピードを適切な点滅速度(期間)になるように調整してください。